

平成21年7月に海岸漂着物処理推進法が制定され、海ごみに対する基本方針が平成22年3月に閣議決定されました。これから都道府県レベルでの海岸漂着物処理推進地域計画の策定や海岸漂着物対策推進協議会の設置などが必要となります。また、海ごみの効果的な発生抑制や円滑な処理を図るためには、国民や民間団体等の積極的な参画を促進していく必要があります。そこで、海ごみに関する専門家のみならず、行政に関わっている方、民間の団体や市民、漁業関係者に集まっていただき、情報交換や意見交換を行い、3Rの推進による循環型社会の構築、海ごみの発生状況、その原因やごみ投棄の防止策など海ごみの問題について考えるシンポジウムを開催します。

平成22年度
鳥取環境大学
特別企画

海岸漂着物処理推進法制定一周年記念シンポジウム

「美しい海を取り戻そう —海ごみ問題とその対応—」

日時 平成22年 7月16日 金 13:30～16:30

場所 鳥取環境大学 大講義室(11講義室)

■ 日 程

13:00 開場 13:30 開会

基調講演

演題「海ごみの実態とその問題」

講師

兼廣春之 氏

東京海洋大学名誉教授・環境省海岸漂着物対策専門家会議座長

国の政策解説

演題「わが国の法制度・基本方針」

講師

宮元康一 氏

環境省水・大気環境局海岸漂着物対策室課長補佐

NPOの取組解説

演題「海洋ごみ問題の改善に向けて」

講師

金子 博 氏

一般社団法人JEAN代表理事

県の取組解説

演題「鳥取県の取組について」

講師

森本智史 氏

鳥取県生活環境部循環型社会推進課長

研究報告

演題「鳥取環境大学の『海ごみ』研究について」

報告者

西澤弘毅、佐藤 伸、荒田鉄二（共同研究者）

15:50～ パネルディスカッション テーマ「今後の海ごみ問題の解決に向けて」

コーディネーター 田中 勝 鳥取環境大学サステナビリティ研究所長

パネリスト 兼廣春之氏、宮元康一氏、金子 博氏、森本智史氏、山本雅宏氏（鳥取市環境下水道部長）

ただし申込が必要です。

入場
無料

※裏面の参加申込書より
FAXにて申し込み下さい。

本シンポジウムは、平成22年度環境省循環型社会形成推進科学研究費補助金を受けて実施するものです。

Tottori University of Environmental Studies



鳥取環境大学

〒689-1111 鳥取県鳥取市若葉台北一丁目1番1号 <http://www.kankyo-u.ac.jp>

お問い合わせ

鳥取環境大学サステナビリティ研究所事務局

TEL: 0857-38-6701 FAX: 0857-38-6709

E-mail: kikaku@kankyo-u.ac.jp

主 催

鳥取環境大学

後 援

環境省、鳥取県、鳥取市、鳥取県漁業協同組合（申請中）